

## 1 情勢報告

## JA土佐くろしおハウスシトウ、ピーマン部会の現地検討会が開催されました



現地検討会の様子

5月18日にハウスシトウの、25日にピーマンの現地検討会が開催されました。本園芸年度は、春先以降、好天に恵まれ、着果が好調で収穫量は多い傾向にある一方、うどんこ病の発生に悩まされた年でした。また、両部会では天敵による害虫防除技術の導入農家率が80%程度まで進み、栽培様式が大きく変わりました。

現地検討会では、経営不振対策として収量・品質向上のための栽培改善方策やコスト低減対策について検討し、またIPM技術体系のそれぞれの技術や次年度の取り組み内容について活発に検討されました。

今後は、くろしお版IPMマニュアルを見直しするとともに、技術導入農家に失敗させない指導体制を整備していきます。また、栽培改善方策については、具体化、メニュー化して推進していきます。

## JA津野山管内普及推進協議会を開催しました



6月7日に、JA津野山「輝」において、農業者と梶原町・津野町・JA津野山の関係者に出席いただき、普及推進協議会を開催しました。

振興センターから産業振興計画、普及指導計画について説明し、今回は担い手育成についてセンサス数字等で現状を説明した後に、意見交換を行いました。「津野山地域の高齢化があまりにも進んでいる。基幹品目でも厳しい品目もある。営農みらい塾で研修しても出口が充分で無い。」などの厳しい意見もありましたが、津野町の直販の取組、有機栽培の動き、農業が好きで専念したい人もいるなどもあり、新規就農者の育成・確保の取組を進めることを話し合いました。

振興センターでは、いただいた意見を参考に、今後の普及活動に活かしていきます。

## JA津野山ナス部会全体会が開催されました



全体会の様子

5月31日に、JA津野山「輝」において、ナス部会全体会が開催されました。

ナス部会では、環境と調和した人と地球にやさしい農業を実現するための取組みとして、環境ISOを実践しています。この会で、その環境ISOにかかる環境実践計画書と教育訓練計画書が、部会として確認されました。

部会長からは、「津野山地域のナスが一層消費者に選ばれるよう、今まで以上に“安全・安心”を意識し、ISOに取り組んでいこう。」という言葉もあり、部会全体で改めて、強く“安全・安心”への意識が高まりました。

## 情勢報告

### 津野町直販所販売力向上検討会の動き



津野町ふるさとセンターでは、直販所の販売力向上のために平成23年4月以降毎週1回のペースで検討会を開催しています。

これまでに

- (1) 販売の現状分析
- (2) 品目毎に拡大できる可能性
- (3) 拡大のために必要な技術、販売方法の改善等について検討を行いました。

今後は品目毎に供給の中心になる農家のリストアップ、組織化などを進める計画になっています。

振興センターでは、農産物の安定的な出荷のための作型開発や、品目選定に対して支援を行っていきます。

### JA土佐くろしお管内新規就農者激励会が開催されました



JA土佐くろしお管内で今年14名が新規就農し、6月16日には、須崎4Hクラブ主催による新規就農者激励会が開催されました。

当日は、津野町葉山運道公園総合センター内体育館で新規就農者、4Hクラブ員、青年農業士、須崎市・農業共済・JA土佐くろしお・農業振興センター職員等約50名が参加し、農協代表理事常務、振興センター所長の激励の挨拶、新規就農者代表挨拶などの後、スカッシュバレーで汗を流しました。また、夕方の懇親会でさらに交流を深めました。

今後、振興センターでは、新規就農者の就農定着に向け、関係機関と連携して支援を行っていきます。

### JA津野山土佐甘とう、シシトウの現地検討会が開催されました



土佐甘とう

6月7日には土佐甘とうの、13日にはシシトウの目慣らし・現地検討会が開催されました。

今年、土佐甘とうは19戸54aで栽培が始まり、産地化に向け取り組まれています。夏秋栽培の事例が少ないため、栽培方法について現地試験をしながら栽培指導を行っています。現地検討会では、全戸が参加され、仕立て方法やかん水管理等の栽培技術について積極的に検討がなされました。

シシトウでは、「基本管理技術の徹底」をテーマに現地検討会を開催し、整枝・誘引方法、かん水管理を中心に検討しました。今年の生産者数は減少したものの、参加者は栽培意欲が高く、活発な意見が出ていました。また、両品目とも、雨よけ栽培では天敵を利用した害虫対策を全戸で取り組むこととなりました。

今後も振興センターでは、中山間地域の有望な品目である土佐甘とう、シシトウについて、栽培技術の向上による収益性の向上のための支援を行っていきます。



夏秋シシトウ

J A土佐くろしお雨よけシシトウの現地検討会が開催されました



現地検討会（葉山会場）

6月10日に雨よけシシトウの現地検討会が上ノ加江地区、葉山地区の2カ所で開催されました。

現地検討会は「基本管理技術の徹底」と「IPM技術の導入」をテーマとして行いました。現地ほ場の管理状態は非常に良く、参加者には大変参考になったようでした。また、上ノ加江会場に参加した栽培者は、天敵による害虫対策を含むIPM技術の検討を熱心に行っていました。

今後、振興センターはJ A土佐くろしお管内の雨よけ栽培でもIPM技術導入を推進し、支援していきます。